

# 緊急市民講演会

## 福島第一原発事故を どう受け止めたらいいのか

とき **4月12日(火)**

夕方6時開場、6時20分開会

ところ **近江町交流プラザ**

4階集会室(近江町いちば館内)



講師 **深尾 正之さん**

(日本科学者会議京都支部、元静岡大学教授  
専門は物理学。原子炉物理、プラズマの研究に従事)

講演 **「福島第一原発事故で  
どんなことがおこっているのか」**

マグニチュード9の巨大地震により、福島第一原発では深刻な事態が進行しています。

原子炉を停止した後も、大量の崩壊熱を出す炉心を冷さなくてはならないのに、全ての電源が失われて冷却機能が喪失。1~3号機では炉心の空焚きから、米国・スリーマイル原発事故(1979年)と同じ炉心溶融がおこり、水素爆発も起こりました。3、4号機では使用済み燃料プールの冷却もできなくなり、“むき出し”の状態の燃料の温度が上がって損傷し、次々と白煙や黒煙がのぼっています。

周辺住民の皆さんは、地震と津波に加えて、原発事故で避難を余儀なくされています。東北や関東など広い範囲で、空気や土、海水、農産物や畜産品から放射性物質の汚染が観測され、原発の建屋では作業員の深刻な汚染事故もおこっています。

福島第一原発事故でおこっている事態を、深尾さんがわかりやすくお話しします。そして、この事故をどう受け止め、どのように対応したらいいのかを、ごいっしょに考えましょう。多くの皆さんのご来場を期待しております。

主催 **日本科学者会議石川支部**

金沢市額乙丸町口206-2 電話 076-296-0216